

平成 22 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 代表取締役社長兼 COO 森 下 将 典
 (コード 3121 大証 2 部)
 問合せ先 経営管理部長兼社長室長 庄 佳 秀
 (TEL 03-3502-4910)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 22 年 5 月 11 日付当社「平成 22 年 3 月期決算短信」にて公表しておりました、平成 23 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正する旨を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正

(1) 修正内容

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株 当 たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,500	200	170	170	7 円 52 銭
今 回 修 正 発 表 (B)	2,104	△39	△80	△39	△1 円 73 銭
増 減 額 (B - A)	△396	△239	△250	△209	—
増 減 率	△15.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間)	3,019	321	251	296	13 円 16 銭

(注) 当社は平成 22 年 8 月 1 日付で当社普通株式 10 株を 1 株とする株式併合を実施しており、表中の「1 株当たり四半期純利益」は、全て当該株式併合による調整後の金額を記載しております。

(2) 修正理由

第 2 四半期連結累計期間の業績予想を以下の理由により修正するものであります。

① 売上高の修正理由

マーチャント・バンキング事業（以下「MB 事業」）において、投資回収の延期及び円高の影響により、投資回収による売上高が約 200 百万円当初予想を下回りました。また、ホスピタリティ&ウェルネス事業（以下「H&W 事業」）の業績低迷により売上高が約 200 百万円当初予想を下回りました。これらを主な要因として、第 2 四半期連結累計期間の売上高予想を 2,104 百万円（前回予想は 2,500 百万円）に下方修正するものであります。

② 営業利益及び経常利益の修正理由

前記①に記載の要因により、MB 事業における投資回収益が約 170 百万円、H&W 事業の営業利益が約 60 百万円それぞれ見込みを下回ったことを主な要因として、第 2 四半期連結累計期間の営業利益予想を営業損失 39 百万円（前回予想は営業利益 200 百万円）に、経常利益予想を経常損失 80 百万円（前回予想は経常利益 170 百万円）に、それぞれ下方修正するものであります。

③ 四半期純利益の修正理由

前記②の理由に加えて、新株予約権戻入益 22 百万円などの特別利益を計上したことにより、第 2 四半期連結累計期間の四半期純利益予想を四半期純損失 39 百万円（前回予想は四半期純利益 170 百万円）に下方修正するものであります。

2. 通期の連結業績予想の修正

(1) 修正内容

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	650	600	600	26 円 54 銭
今回修正発表 (B)	8,000	1,110	1,030	800	35 円 40 銭
増減額 (B - A)	2,000	460	430	200	—
増減率	33.3%	70.8%	71.7%	33.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	5,894	637	496	626	27 円 78 銭

(注) 当社は平成 22 年 8 月 1 日付で当社普通株式 10 株を 1 株とする株式併合を実施しており、表中の「1 株当たり当期純利益」は、当該株式併合による調整後の金額を記載しております。

(2) 修正理由

前記 1.に記載の第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正理由に加えて、以下の理由により通期の連結業績予想を修正するものであります。

① 売上高の修正理由

平成 23 年 3 月に「ホテル日航茨木大阪」の土地・建物に係る信託受益権の売却 (注) を予定しておりこれによる売上高 3,820 百万円を新たに見込んだほか、一部投資案件の回収予定を次期以降としたこと、及び H&W 事業について同ホテル撤退の影響や昨今の景況を踏まえ下期を保守的な見通しとしたことなど要因として、通期の売上高予想を 8,000 百万円（前回予想は 6,000 百万円）に上方修正するものであります。

② 営業利益及び経常利益の修正理由

前記①の信託受益権の売却益約 1,300 百万円を見込んでいること、投資回収益の見込みを当初予想から約 500 百万円減少させたこと、及び「ホテル日航茨木大阪」撤退の (注) の影響による減益約 100 百万円を見込んでいることなどを要因として、通期の営業利益予想を 1,110 百万円（前回予想は 650 百万円）に、経常利益予想を 1,030 百万円（前回予想は 600 百万円）に、それぞれ上方修正するものであります。

③ 当期純利益の修正理由

前記②の理由に加えて、「ホテル日航茨木大阪」撤退 (注) に関する特別損失を約 270 百万円程度見込んでいることなどから、通期の当期純利益予想を 800 百万円（前回予想は 600 百万円）に上方修正するものであります。

(注) 平成 22 年 9 月 17 日付当社「連結子会社の事業所の営業終了及び固定資産の譲渡に関するお知らせ」ご参照。

以上

※ 上記予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。